

顧客本位の業務運営に関する取組方針

株式会社イザナギマネジメント（以下「当社」といいます。）は、2017年3月30日に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を受け、以下のとおり、その取組方針を定めます。

1 顧客の最善の利益の追求

当社は、高度の専門性と職業倫理を保持し、顧客に対して誠実・公正に業務を行い、顧客の最善の利益を図ります。また、当社は、こうした業務運営が企業文化として定着するよう努めます。

2 利益相反の適切な管理

当社は、取引における顧客との利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には、当該利益相反を適切に管理いたします。

3 手数料等の明確化

当社は、名目を問わず、顧客が負担する手数料その他の費用の詳細を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、顧客が理解できるよう情報提供いたします。

4 重要な情報の分かりやすい提供

当社は、金融商品・サービスの販売・推奨等に係る重要な情報を顧客が理解できるよう分かりやすく提供いたします。

5 顧客にふさわしいサービスの提供

当社は、顧客の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを把握し、顧客にふさわしい金融商品・サービスの組成、販売・推奨等を行います。

6 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

当社は、顧客の最善の利益を追求するための行動、顧客の公正な取扱い、利益相反の適切な管理等を促進するように、従業員研修その他の適切な動機づけの枠組みや適切なガバナンス体制を整備いたします。

2021年10月31日策定

顧客本位の業務運営に関する取組状況

1 顧客の最善の利益の追求

当社は、顧客の最善の利益を追求する企業文化を定着させるために、年1回のコンプライアンス研修を実施しております。

2 利益相反の適切な管理

当社は、弊害防止措置等に関する規程を策定したうえで、当該規程の内容に従い、顧客との利益相反が生じ得る取引を未然に防ぐように取り組んでおります。

3 手数料等の明確化

当社は、私募ファンド等顧客が負担する手数料及びそれに対応するサービスの内容を各種契約書等に明記することで、顧客に対する情報提供に努めております。

4 重要な情報の分かりやすい提供

顧客とのコミュニケーションを徹底したうえで、顧客の重要な情報について、報告書等により、分かりやすく提供するように取り組んでおります。

5 顧客にふさわしいサービスの提供

当社は、顧客を特定投資家のみ限定したうえで、顧客カードを整備し、顧客の投資経験等の有無を把握することで、顧客の投資経験等に相応したサービスを提供するように取り組んでおります。

6 従業員に対する適切な動機づけの仕組み等

当社は、役職員がプロフェッショナルとして顧客に質の高いサービスを提供すべくマーケット情報の収集・分析に努め、それを全社員と共有する仕組みを構築しています。また、顧客との信頼関係を築き、より質の高いサービス提供を行うことを目的として、役職員に対して法令及び社内規程等の周知徹底・コンプライアンス研修等を継続的に実施しております。

2021年11月30日時点